

Q 4 不登校のきっかけや継続要因にはどのようなものがありますか。

不登校の背景が様々であることは上述しましたが、不登校になったきっかけや不登校が継続している要因も様々です。まず、不登校のきっかけは、主に次のように分類されます。

(1) 学校生活に起因するもの

友達関係をめぐる問題 教職員との関係をめぐる問題 学業の不振
クラブ・部活動への不適応 学校のきまりなどをめぐる問題
入学・転編入学・進級時の不適応

(2) 家庭生活に起因するもの

家庭の生活環境の急激な変化 親子関係をめぐる問題 家庭内の不和

(3) 本人の問題に起因するもの

病気による欠席 その他本人にかかわる問題

次頁グラフにあるように、本県の中学校では、本人にかかわる問題が上昇傾向にあります。また、学校生活に起因する不登校は、平成20年度は不登校生徒の37.4%を占めており、この点について改善を図る努力を継続する必要があります。また、不登校が継続している要因については、主に次のような分類がされます。

(1) 学校生活上の影響 : いじめや嫌がらせをする生徒の存在や、教職員との人間関係など、明らかにそれと理解できる学校生活上の影響から登校しない・できない。

(2) 遊び・非行 : 遊ぶためや非行グループに入ったりして登校しない。

(3) 無気力 : 無気力で何となく登校しない。登校しないことへの罪悪感が少なく、迎えに行ったり強く登校を催促したりすると登校するが長続きしない。

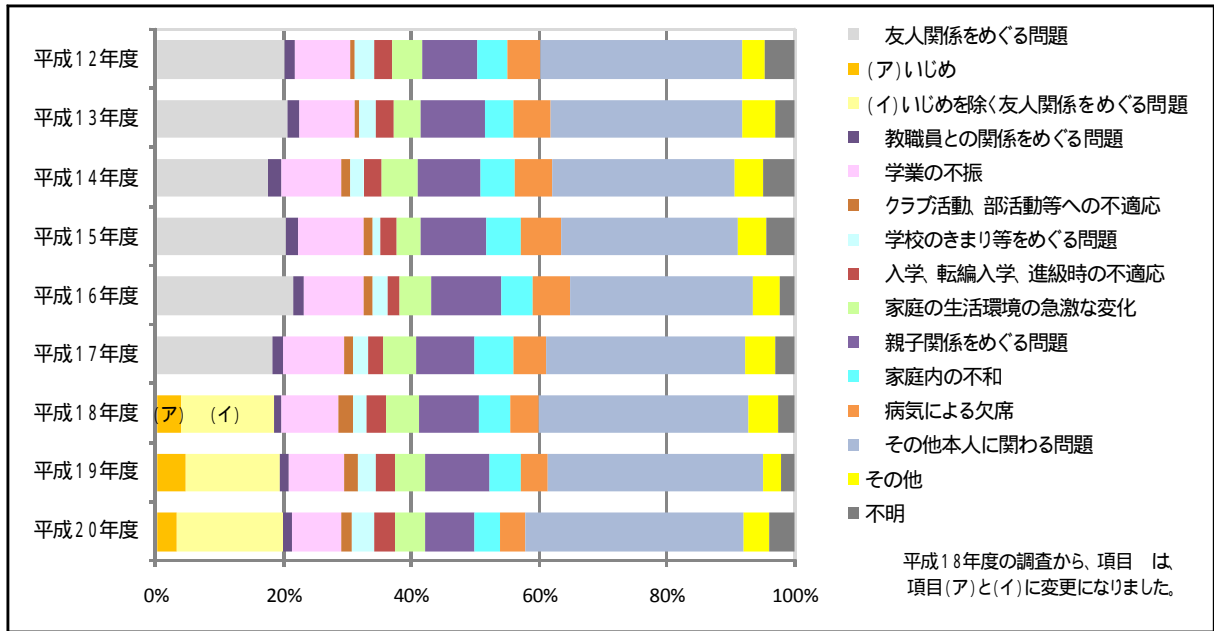
(4) 不安など情緒的混乱 : 登校の意志はあるが身体の不調を訴え登校できない、漠然とした不安を訴え登校しない等、不安を中心とした情緒的な混乱によって登校しない・できない。

(5) 意図的な拒否 : 学校に行く意義を認めず、自分の好きな方向を選んで登校しない。

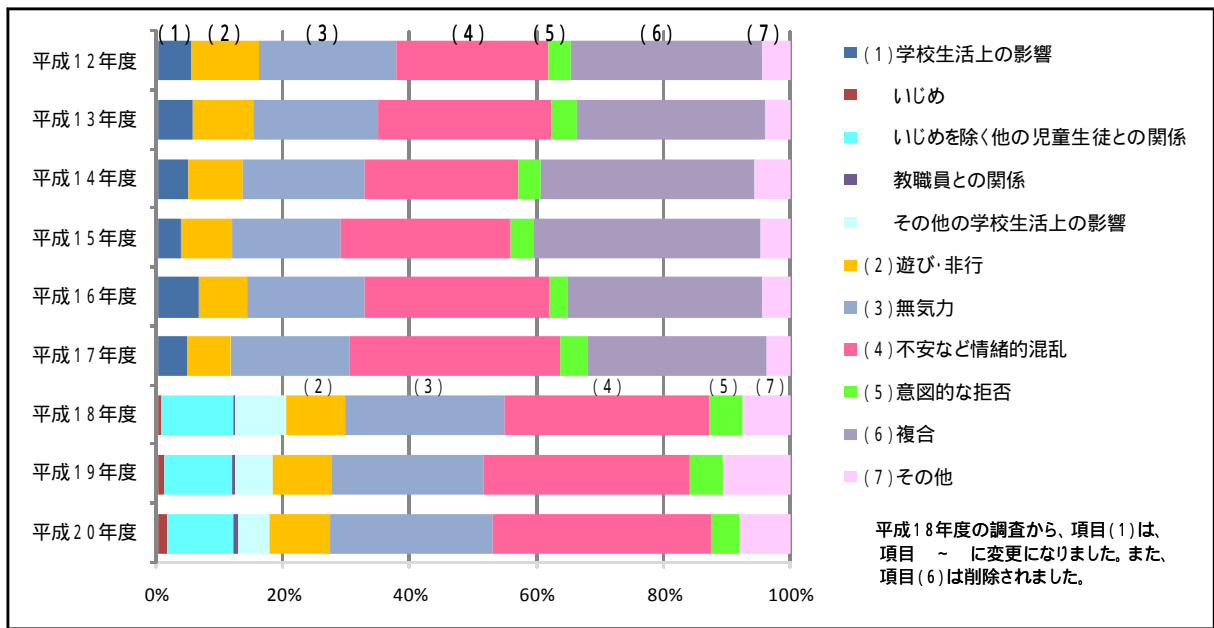
(6) 複合 : 不登校状態が継続している理由が複合していて、いずれが主であるか決めがたい。

(7) その他 : 上記のいずれにも該当しない。

本県の中学校で不登校が継続する理由として多いのが「不安など情緒的混乱」や「無気力」です。次いで「いじめを除く他の児童生徒との関係」「遊び・非行」が多くなっています。中学校における不登校の解消には、心の問題や人間関係づくり、非行防止としての対応策が必要となります。



不登校となったきっかけと考えられる状況（岐阜県 公立中学校）



不登校状態が継続している理由（岐阜県 公立中学校）